Vicks®スチーム式加湿器

取扱説明書（保証書付）

Model V100B（M）



●このたびは、Vicks®スチーム加湿器をお買上げいただきまして、誠にありがとうございました。
●この商品を安全に正しくご使用していただくため、お使いになる前に必ずこの「取扱説明書（保証書付）」をお読みいただき、十分にご理解ください。
●お読みになったあとは、いつもお手元においてご使用ください。

■もくじ

Vicks® スチーム式加湿器は、米国カズ社 kaz メキシコ工場にてライセンス製造されています。

■安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
●表示と意味は次のようになっています。

	**警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	**注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 感電注意	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
 分解禁止	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠危 険

スチームユニットのお手入れは必ず行ってください。

堆積物が多量に付着するとショート・発煙・発火の原因になります。
（スチームユニットのお手入れの項を参照してください。）



⚠警 告

絶対に修理・改造はしないでください。

けが、発火、異常動作の原因になります。電源コードが破損した場合には、危険防止のため、弊社もしくは販売店または同等の有資格者に、電源コードの交換を依頼してください。



改造禁止

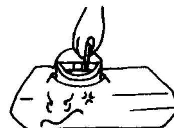


蒸気吹出し口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。

感電、けが、異常動作の原因になります。



禁　止



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。

感電、けがの原因になります。



プラグを抜く



⚠ 警　告

スチームユニット上部を水につけたり、水をかけないでください。

感電、ショート、発火の原因になります。



水かけ禁止

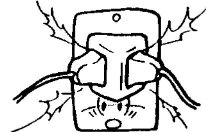


電源は必ず15Ａ（アンペア）以上の容量をもつコンセント回路から単独でお取りください。

同一コンセント回路から他の電気器具を併用したり、延長コード等を使用すると、発熱・発火の原因になります。



専用電源

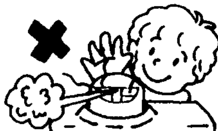


蒸気吹出口にさわったり、顔などを近づけないでください。

やけどの原因になります。



接触禁止

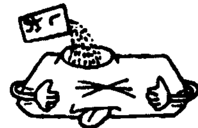


塩を入れすぎないようにしてください。また、温泉水や井戸水は絶対に入れないでください。

加湿されすぎて、蒸気でやけどすることがあります。また、電源プラグやコードが熱をもち、ショート、発火、火災の原因になります。



禁　止

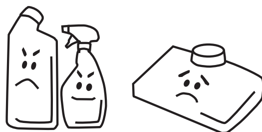


お手入れには、塩素系・酸素系・アルカリ性タイプの洗剤は使用しないでください。

洗剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。



使用禁止



幼児の手の届く範囲で使用しないでください。

感電ややけどなど思わぬ事故の原因になります。



禁　止



一般家庭用につき脱衣所や風呂場・温室等、湿度の高い所では使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因になります。



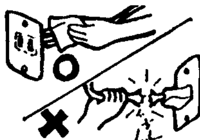
禁　止

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電、ショート、発火の原因になります。

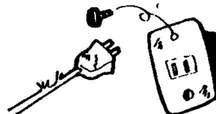




電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

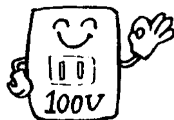




電源は交流１００Ｖ以外では使用しないでください。

感電、火災の原因になります。

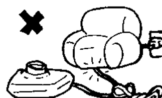




電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください。

電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

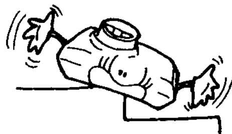




不安定な場所には置かないでください。

転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。





使用中や使用直後は、持ち運ばないでください。

熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。





使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。





お手入れの際は取扱説明書のお手入れの方法にしたがって行ってください。また、加湿器が完全に冷えてから行ってください。

感電、ショート、けが、やけどの原因になります。



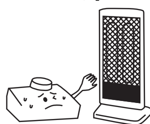


⚠注 意

直射日光のあたるところや、暖房器具の近くや、温風があたるところには、置かないでください。


禁 止

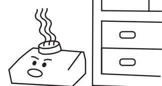
変形・変色の原因になります。



蒸気が、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところには置かないでください。


禁 止

しみがついたり、変色・変形の原因になります。



最低１週間に１回はタンクをお手入れし、新しい水道水と入れ替えてください。

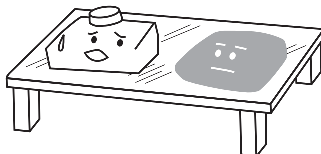
タンクの水を入れ替えないで何度も給水すると水分中のミネラル分がタンク内に蓄積し、加湿過剰のために電源コード・プラグが熱をもち、ショートや発火・火災の原因になります。


必ず行う

木製家具、ガラス製家具など熱に弱いものの上では使用しないでください。


禁 止

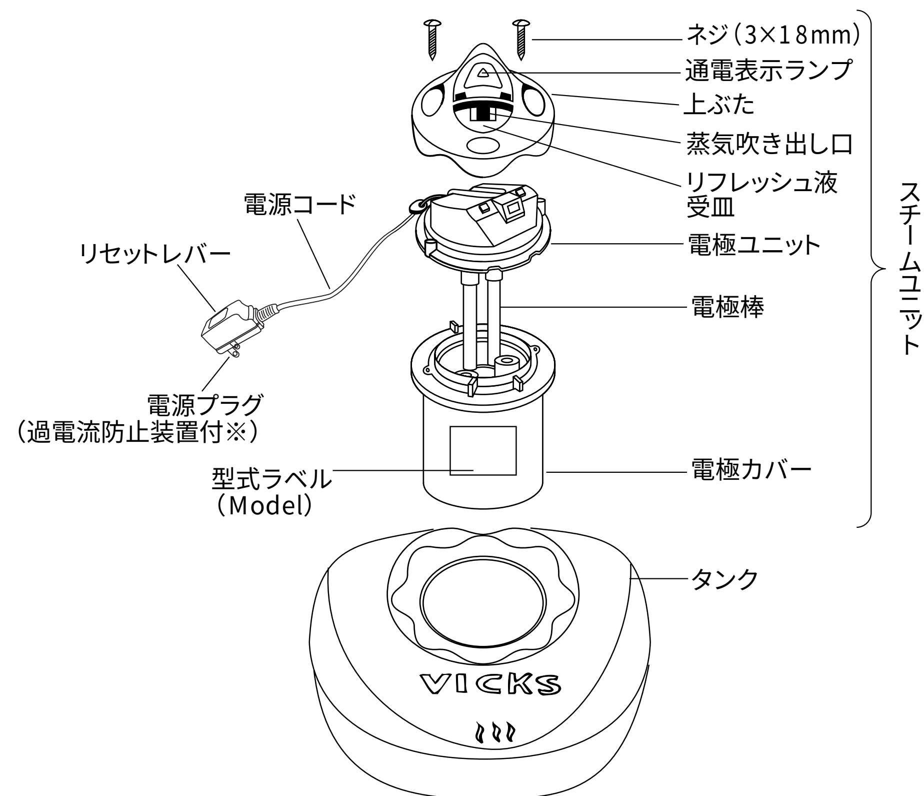
長時間同一の場所で使用しますと、床や家具の材質、塗装によっては変色・変形・破損の原因になります。



■電極式加湿器について

●この加湿器は電極式です。水の中に少量の塩（6ページ1－3参照）を入れませんと、蒸気が出ません。
●加湿量（時間当たり）は塩の量によって異なります。塩の量が多いと加湿量（時間当たり）は多くなり、塩の量が少ないと加湿量（時間当たり）は少なくなります。ただし、塩を入れすぎると電源プラグやコードが熱くなり危険ですので、ご注意願います。
●この加湿器は電極式のため、タンク内の水位によって加湿量（時間当たり）は異なります。水位が高いと加湿量（時間当たり）は多くなり、水位が低いと加湿量（時間当たり）は少なくなります。

■各部の名称



※過電流防止装置は、塩の入れすぎやスチームユニットのお手入れ不足が原因で電流が流れすぎたときに、安全のため電流を遮断するものです。

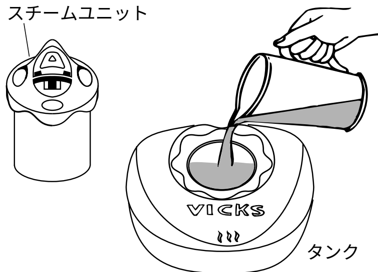
製品仕様およびデザインは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

■ご使用方法

注意：スチームユニットが固定されていないので、電源コードを引っ張ったり、引っ掛けたりすると、スチームユニットがタンクからはずれることがありますので、ご注意ください。

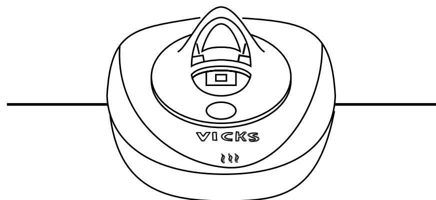
1．準備する

1． スチームユニットを外し、MAX線まで水道水を入れる。



注意：**温泉水や井戸水は絶対に入れないでください。加熱しすぎて、ショート、やけど、発火・火災の原因になります。**
：汚れた水、化学薬品、リフレッシュ液などをタンクに入れないでください。
：水をタンクの下などに、こぼした時はすぐに拭いてください。

2． 固く水平な場所に加湿器を置いてください。

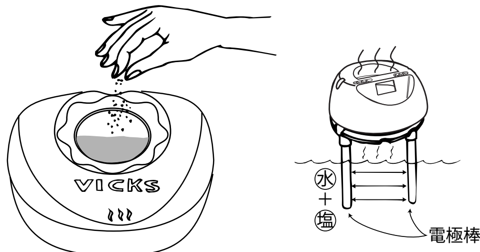


 禁　止	変色・変形・破損の恐れあり。 長時間同一の場所で使用しますと、床や家具の材質、塗料によっては変色・変形・破損の原因になります。木製家具、ガラス製家具など熱に弱いものの上では使用しないでください。

3． 少量の塩をタンク内に入れ、よくかきまぜる。
塩は家庭用の食塩で結構です。

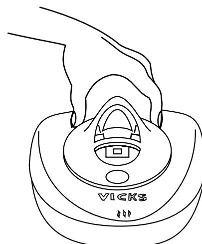
入れる塩の量の目安
約2～3つまみ（約1g）

○つまみは親指と人差し指の2本ではさんだものです。



塩を入れる理由： Vicks・スチーム式加湿器は、プラス極とマイナス極に、電極棒と呼ばれる炭素の棒を水に浸すことによって、電気を流し、お湯を沸騰させ、蒸気を放出させる仕組みになっております。水またはぬるま湯に入れる塩は、電気の流れをよくし、加湿をより促すためのものです。加湿器が蒸気を放出しても、塩分はタンク内に残ります。安全上全く問題ありませんのでご安心ください。

4． スチームユニットをタンクに戻し、図のように、約10秒間手で押さえる。

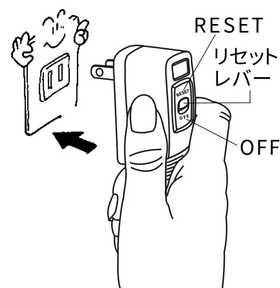


注意：スチームユニットが浮いてしまう時は、タンク内の水を少し減らしてください。

2．運転開始

1．電源プラグをコンセントに差し込む。

リセットレバーが RESET 側にあることを確認してください。
OFF 側にある場合は RESET 側にして使用してください。
通電ランプが点灯し、運転が開始されます。



電源プラグは、過電流防止装置付プラグを使用しています。このプラグのリセットレバーを、RESET 側にして使用してください。
また、塩の入れすぎや、スチームユニットのお手入れ不足の場合、過電流防止装置として作動し、リセットレバーが OFF となりますので、その際はタンク内の水を交換するか、スチームユニットのお手入れをしてください。

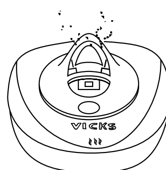
注意：蒸気が出始めるまでの所要時間は、水温により異なります。
（目安：水温 20℃程度で約 10 分）
早く蒸気を出したい場合は、ぬるま湯を入れることをおすすめいたしますが、熱湯はやけどの恐れがありますので入れないでください。

2．しばらく様子を見て、加湿量が少ないときのみ、少し塩を加える。

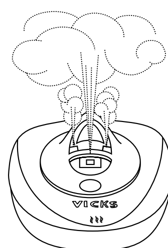
塩を入れすぎると加湿過剰になり、やけどの恐れがありますのでご注意ください。また電源コード・プラグが熱をもち、ショートや発火・火災の原因になります。

○こんな現象は塩の入れすぎです。
①蒸気が吹き出し口だけでなく、左右の穴からも蒸気が吹き出す。
②電源プラグやコードが熱くなる。
③タンク内でボコボコお湯の沸騰する音がする。
④リセットレバーが OFF になってしまう。
○こんな時の対策は！
タンク内の水を一部または全部捨てて、水道水を追加してください。

○ 適正な加湿



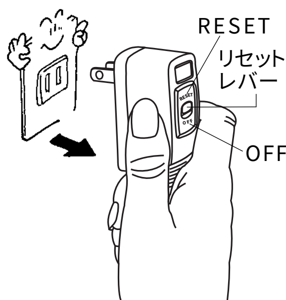
✕ 加湿過剰（塩の入れすぎ）



※塩の量によって連続運転時間が異なります。

3．運転を止める

電源プラグをコンセントから抜く。**リセットレバーでの ON/OFF はしないでください。**



注意：・タンク内の水が底面から 3.5cm 程度になると、加湿が自動的に止まります。
（ただし、通電ランプは点灯したままです。）
・蒸気が出ている時は通電中ですので、プラグの抜き差しにはご注意ください。

4．給水方法

A　タンク内の水を捨てずに追加給水する場合

・水を入れてかき回してください。
・**塩は入れないでください。**（塩は蒸発せずタンク内に残ります。）
※タンク内に黒いカス（12 ページ参照）が残りますが、そのまま給水して問題ありません。

B　タンク内の水をすべて入れ替える場合

・タンク内の水を捨ててください。
・水を入れてかき回してください。
・**塩は入れないでください。**（中の水を入れ替えても多少の塩分は残ります。）
蒸気の出方が悪い場合のみ、ひとつまみ程度の塩を入れてかき回してください。

タンクは最低 1 週間に 1 回清掃してください。

■お手入れの方法

○スチームユニットのお手入れ（月に1回が目安）

	スチームユニットのお手入れは必ず行ってください。 堆積物が多量に付着すると、ショート、発熱、故障の原因になります。

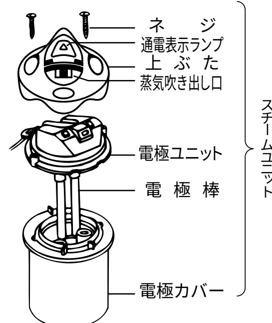
1．電源プラグをコンセントから抜く。
2．図1のように上ぶたのネジを取り外し、電極カバーを外す。
3．電極棒のお手入れ
図2のように、金属のヘラのようなものまたはカッターナイフで電極棒に付着している堆積物をけずり落とす。
注意：電極棒に付着している堆積物をけずる際には十分に気を付けてください。手を切り、ケガをするおそれがあります。
汚れが落ちにくい時は、電極棒部分を酢に浸して8時間程度おいてから、けずると取れやすくなります。
4．電極カバーのお手入れ

	電極カバー内の堆積物は必ず取り除いてください。電極カバー内に堆積物が残っているとショート、発煙、発火の原因になります。

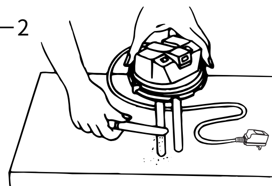
スポンジに台所用中性洗剤（食器用）をつけて汚れを落とし、水できれいに洗い流す。
電極カバーの内部の底の堆積物は歯ブラシ状のもので落とし取り除いてください。底部の小さい穴がカスなどでふさがれている時は、つまようじなどで開けてください。（図-3）
5．電源コードがコードホルダーから外れていないか確認をする。外れている時は、図4のように元の位置に戻す。
6．上ブタ、電極ユニット、電極カバーを元のように組み合わせ、ネジでしっかりと留める。

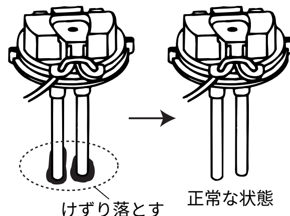
電極棒は消耗品です。電極棒が細くなったり、短くなるなど消耗の激しい場合はスチームユニットを交換してください。（11ページ参照）

図－1

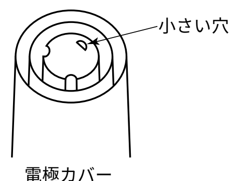


図－2

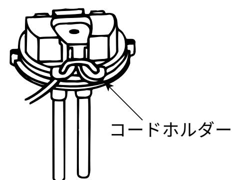




図－3



図－4



○タンクのお手入れ（週に１回が目安）

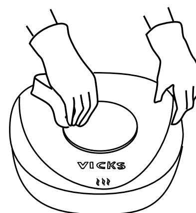
１．電源プラグをコンセントから抜く。

２．スチームユニットを外し、タンク内の水を捨てる。

３．台所用中性洗剤（食器用）をスポンジにつけて、タンク内の汚れを落とす。

４．水道水で洗剤を完全に洗い落とす。

注意：お手入れの際はゴム手袋等をして行ってください。タンクで手を切る恐れがあります。



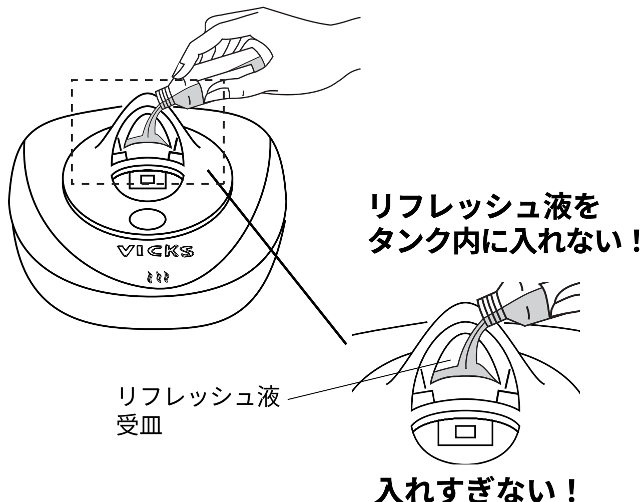
■収納について

お手入れ後に、各部分の水分をよく拭き取り、陰干しし、充分に乾燥させてください。
乾燥した気温の低い場所に保管してください。

■別売・リフレッシュ液のご使用方法

別売りの専用リフレッシュ液を使用すると、それぞれのリフレッシュ液の香りが蒸気といっしょに空気中に発散され、お部屋に香りを届けます。ご使用になる場合は、スチーム加湿器の吹出口手前にある受皿（〝POUR KAZ INHALANT HERE〞と書いてある部分）に約10ml 程度（小スプーン2杯）のリフレッシュ液を入れてください。リフレッシュ液を入れすぎたり、リフレッシュ液をタンク内に直接入れると故障の原因になりますので、ご注意ください。

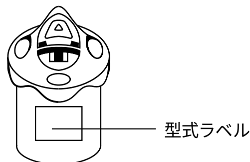
※リフレッシュ液のご購入は加湿器をお買い求めの販売店までお問い合わせください。



■スチームユニットの交換について

加湿器内部の電極棒は、消耗品となっています。スチームユニットのお手入れの際、電極棒が消耗している場合は、新しいスチームユニットと交換してください。

> 交換用スチームユニットは、加湿器をお買い上げの販売店または保証書に記載の当社でお買い求めください。本体の型式は、スチームユニットの電極カバーに貼ってある型式ラベルでご確認ください。
> （スチームユニット品番　Model V100B用　K-10）



■故障かな？　と思ったら

次の場合は故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

●通電表示ランプ（ナイトランプ）が点灯しない

- 電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれているか確認してください。
- 電源プラグのリセットレバーがＲＥＳＥＴ側になっているか確認してください。（OFF側にありますと通電しません。）

●加湿器から蒸気が出ていない

- 「ご使用方法」にしたがって、タンクに少量の塩を入れ、よくかき回してください。
- 水位を確認してください。水位が底面より約２cm以下になると、自動的に運転が停止します。給水をしてください。
- 「スチームユニットのお手入れ」にしたがって、電極棒を点検、清掃してください。

●加湿量が少ない

- スチームユニットのお手入れをしていますか。
  電極棒等に堆積物が多く付着すると、蒸気が出にくくなります。９ページのお手入れの方法にしたがって、スチームユニットのお手入れをしてください。
- タンクのＭＡＸ線まで水道水を追加して確認してください。
- 少量の塩を追加して蒸気の量が増えたか確認してください。

●加湿量が多い

- 塩を入れすぎていませんか。
  タンク内の水を捨て、再度水道水を入れてください。
  注意：タンク内の水を捨てずに追加給水する際は、水道水を入れ、塩を入れずによくかき混ぜてください。塩は蒸発せずにタンク内に残ります。
- タンクの水の入れ替えをしていますか。
  タンクの水の入れ替えをしませんと、水分中に含まれる塩素や鉱物性成分がタンク内に残り、加湿量を高めるはたらきをします。タンク内の水を捨て、再度水道水を入れてください。

●電源プラグのリセットレバーがOFFになってしまう

- 塩を入れすぎていませんか。タンク内の水を捨て、再度水道水を入れてください。
- スチームユニットのお手入れをしていますか。
  ９ページのお手入れの方法にしたがって、スチームユニットのお手入れをしてください。

●タンク内に黒いカスが残る

- 本加湿器を使用しますと、タンク内に黒いカスが出たり、水の色が変色したりします。これは、水の中に含まれる塩素や鉱物性成分などが、電極棒である炭素と反応していっしょに水中に流れ出るために生じます。いずれの場合も正常で、炭素（スミ）と、もともと水の中に含まれる成分であるため、全く問題はありません。気になる場合は、こまめにタンク内の清掃を行ってください。
  また、スチーム式加湿器なので、これらの成分が蒸気中に含まれることはありません。

■製品仕様

型　　式		Model V100B（M）
電気定格		100V・50/60Hz
消費電力		310W（0.15%の食塩水を使用の場合）　※1
外形寸法（㎜）	幅	250
	奥行	235
	高さ	165
重　　量		620g
タンク容量（有効量）		2.8L（2.1L）
定格加湿能力　※2		300mL/h（0.15%の食塩水を使用した場合）
連続加湿時間		約7時間
適用床面積　※3		5～8畳
通電表示ランプ		付（ナイトランプ）
過電流防止装置		付（7A）
生　産　国		メキシコ

※1　純水（20℃）の食塩の飽和水溶液を塩分濃度100%としています。
※2　定格加湿能力は、0.15%の食塩水を使用し、日本電機工業会規格（JEM1426）附属書1に基づき測定されています。
※3　適用床面積の目安は、日本電機工業会規格（JEM1426）に基づき算出しています。
　　但し使用する食塩水の濃度、部屋の構造、壁・床の材質、使用暖房器具等によって適用床面積および連続加湿時間は変化します。

■保証書・アフターサービスについて

●この商品には保証書を添付しております。保証書は本取扱説明書14ページにございます。
●保証書はお買上げの販売店で発行しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●この保証書は紛失しても再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中の修理でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書にありますように、「スチームユニットのお手入れ」に基づく清掃およびそれを行わなかったために生ずる故障は、保証期間中であっても有償修理となりますのでご注意ください。
●保証期間経過後の修理については有料修理となります。
保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店または保証書に記載してある弊社にお問い合わせください。
●修理品の送り先

〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町1-14-8　TT-1ビルディング11F
日本ゼネラル・アプライアンス株式会社　修理受付係
TEL　（03）5643-1331

故障内容を明記の上、お送りください。
保証中の場合は、保証書（またはコピー）もしくは購入日を確認できるものを添付してください。
●この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後5年間です。

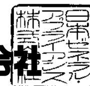
Vicks®スチーム式加湿器　保証書

<table>
<tr><td colspan="2">型　　式</td><td colspan="2">V100B（M）</td><td>持込修理</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ日</td><td colspan="2">年　　　月　　　日</td><td>S</td></tr>
<tr><td colspan="3">保 証 期 間（お買い上げ日より）</td><td colspan="2">本　体　　1　年
（「スチームユニットのお手入れ」に基づく清掃を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">お 客 様
ご 住 所
（フリガナ）
ご 芳 名</td><td colspan="3">□□□－□□□□　　TEL（　　　）　－

様</td></tr>
<tr><td>販売店</td><td>店 名
住 所</td><td colspan="3">印
TEL（　　　）　－</td></tr>
</table>

●この保証書はお買上げの日から1年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合には、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にお問い合わせください。

(1) 万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。
(2) 無料修理をお受けになる際は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にご依頼ください。
(3) 離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係る経費は実費を頂きます。
(4) 次の様な場合には、保証期間中であっても有料修理となります。
　①誤った使用方法あるいは取扱い上の不注意による故障や損傷。
　②不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
　③お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
　④火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。
　⑤一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載）に使用した場合の故障や損傷。
　⑥本書の提示がない場合。
　⑦お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。
　⑧「スチームユニットのお手入れ」に基づく清掃およびそれを行わなかったために生じた故障。
(5) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan.
(6) 修理内容の記載欄は、修理伝票等の発行をもって代替させて頂きます。
(7) お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

Vicksヘルスケア商品　日本総代理店
日本ゼネラル・アプライアンス株式会社


〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町1-14-8　TT-1ビルディング11F
TEL（03）5643-1331（代）　FAX（03）5643-1335

Vicksヘルスケア商品　日本総代理店
日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

東京本社：〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町1-14-8　TT-1ビルディング11F
TEL　(03) 5643-1331 (代)　FAX　(03) 5643-1335

大阪支店：〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場1-16-10　大阪岡本ビル6F
TEL　(06) 6125-2620 (代)　FAX　(06) 6125-2607

A.0218-C　PUB. NO. 48U902